

これまでに当院で入院治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

東近江総合医療センター薬剤部では「入院患者における持参薬の抗コリン薬負荷に関する実態調査」という臨床研究を行っております。この研究は、当院に入院された患者様の持参薬（患者さまが入院時にお持ちになった、普段お使いになっているお薬）を調査し、日本版抗コリン薬リスクスケール（作成：一般社団法人 日本老年薬学会）に基づき抗コリン薬の投薬状況を調査することを主な目的としています。そのため、過去に当院入院にて治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は東近江総合医療センター倫理委員会で審査、承認を受けて行われます。

研究期間

当院の倫理委員会承認後 ～ 2027 年 3 月 31 日まで

調査対象期間

2022 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに当院にて入院治療を受けた患者さんのカルテ情報、持参薬情報です。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は東近江総合医療センターに帰属し、患者さんには帰属しません。

○この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

国立病院機構 東近江総合医療センター

薬剤部 薬務主任 研究代表者：荒川 宗徳

TEL：0748-22-3030 (代)

FAX：0748-23-3383 (代)